

研究員 の眼

国内株式投信の売り一巡か？

～2025 年9月の投信動向～

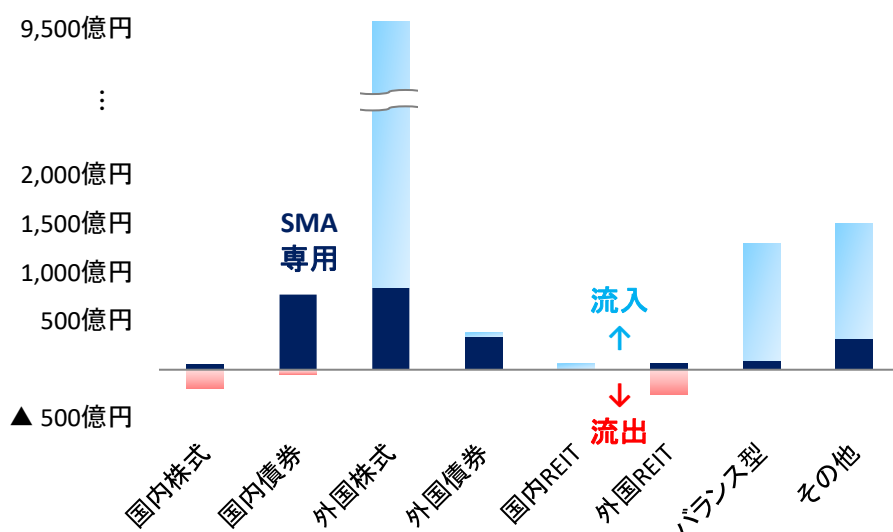
金融研究部 主任研究員 前山 裕亮
(03)3512-1785 ymaeyama@nli-research.co.jp

外国株式ファンドへの流入が2カ月連続増加

2025 年 9 月の日本籍追加型株式投信（ETFを除く。以降、ファンドと表記）の推計資金流出入を見ると、9 月は外国株式ファンドに 9,600 億円の資金流入があった【図表 1】。2 カ月連続の増加となり、1 兆円には届かなかったが 5 月以来の 9,000 億円越えとなった。

なお、9 月はラップ口座の販売が好調だったとみられ、SMA 専用ファンド（紺棒）への資金流入が目立った。外国株式ファンドも SMA 専用のものに 800 億円の資金流入があり、押し上げた。ただ、一般販売されているものに限っても、外国株式ファンドの資金流入は 8 月から 1,700 億円増加しており、販売が好調であった。

【図表 1】 2025 年9月の日本籍追加型株式投信（除く ETF）の推計資金流出入



（資料）Morningstar Direct より作成。各資産クラスはイボットソン分類などを用いてファンドを分類。

一般販売されている外国株式ファンドでは、インデックス型に 5,800 億円、アクティブ型に 2,900 億円と、ともに8月の 5,300 億円、1,700 億円から増加した。特に8月からの増加額がインデックス型は 500 億円だったのに対し、アクティブ型は 1,200 億円と顕著であった。9月はインデックス型、アクティブ型ともに全体的に増加したというより、一部のファンドへの資金流入増加が顕著であった。

一部の外国株式ファンドの資金流入が加速

インデックス型では、「eMAXIS Slim全世界株式(オール・カントリー)」いわゆるオルカンが 2,000 億円超の資金流入があり、8月から 300 億円以上も増加した【図表 2】。オルカンの純流入が 2,000 億円を超えたのは、1月の 3,800 億円以来のことであった。加えて「iFreeNEXT FANG+インデックス」も増加が顕著で、この 2 ファンド(青太字)だけで8月から 500 億円以上の増加と、ほぼインデックス型の増加分に達した【図表 2】。アクティブ型も9月新設の 2 ファンドを含む 4 ファンド(赤太字)合計で8月から 1,100 億円増加しており、アクティブ型の増加分の大半はこの 4 ファンドで説明ができる。

外国株式の投資環境に目を向けると、9月も米国を中心に世界的に株価が上昇し、さらに8月と異なり月初に 1 ドル 147 円前後だったのが月末には 149 円に迫るなど円安が進んだ。インデックス型、アクティブ型問わず基準価額が大きく上昇する外国株式ファンドが 8 月以上に多かった。

つまり、9月は外国株式ファンドの売却が8月よりも増加してもおかしくない状況であったといえる。それでも資金流入が加速していたことを踏まえると、流入増加こそ一部のファンドに限られたが、資金の動きを見る限りでは外国株式ファンドの売却増加は限定的かつ販売も引き続き堅調だった様子である。

米国株式ファンドに限ると資金流入は鈍く

ただし、9月も米国株式ファンドに限ると販売が復調している様子が乏しかった。インデックス型では、米国株式ものである「iFreeNEXT FANG+インデックス」が9月に売れたものの、「eMAXIS Slimシリーズ」ではオルカンと比べて米国株式(S&P500)の勢いは乏しい。

【図表 2】 2025 年9月の推計純流入ランキング

	ファンド名	運用会社 (略称)	8月の 流入	9月の推計 純流入	純資産 9月末時点
1位	eMAXIS Slim 全世界株式(オール・カントリー)	三菱UAM	1,679億円	2,051億円	7兆5,860億円
2位	インベスコ 世界厳選株式オープン(為替ヘッジなし)(毎月決算型)	インベスコ	1,595億円	1,651億円	2兆6,655億円
3位	eMAXIS Slim 米国株式(S&P500)	三菱UAM	1,128億円	1,148億円	8兆5,858億円
4位	フィデリティ・グロース・オポチュニティ・ファンド D(毎月・予想分配・ヘッジ無)	フィデリティ投信	574億円	737億円	4,726億円
5位	ビクテ・ゴールド(為替ヘッジなし)	ビクテ	304億円	535億円	5,465億円
6位	iFreeNEXT FANG+インデックス	大和AM	299億円	458億円	8,366億円
7位	ニュートン・パワー・イノベーション・ファンド(為替ヘッジなし)	三井住友DS	154億円	377億円	2,629億円
8位	ドナルド・スミス グローバル・ディープバリュー戦略株式ファンド	三井住友DS	---	366億円	371億円
9位	三菱UFJ 純金ファンド	三菱UAM	179億円	361億円	6,424億円
10位	モルガン・スタンレー 米国株式インサイト戦略ファンド(為替ヘッジなし)	三菱UAM	---	344億円	367億円

(資料) Morningstar Direct より作成。SMA、DC 専用ファンドは除く。

また、一般販売されているアクティブ型の外国株式ファンドは、9月も新設された「モルガン・スタンレー 米国株式インサイト戦略ファンド(為替ヘッジなし)」を除外すると流出額が 200 億円弱と少額ではあるが、3カ月連続の売却超過となっている。米国株式については、高パフォーマンスが続いているものの過熱感も懸念されている。そのため、一部で買い付けを控えるもしくは売却する動きが続いていることがうかがえる。

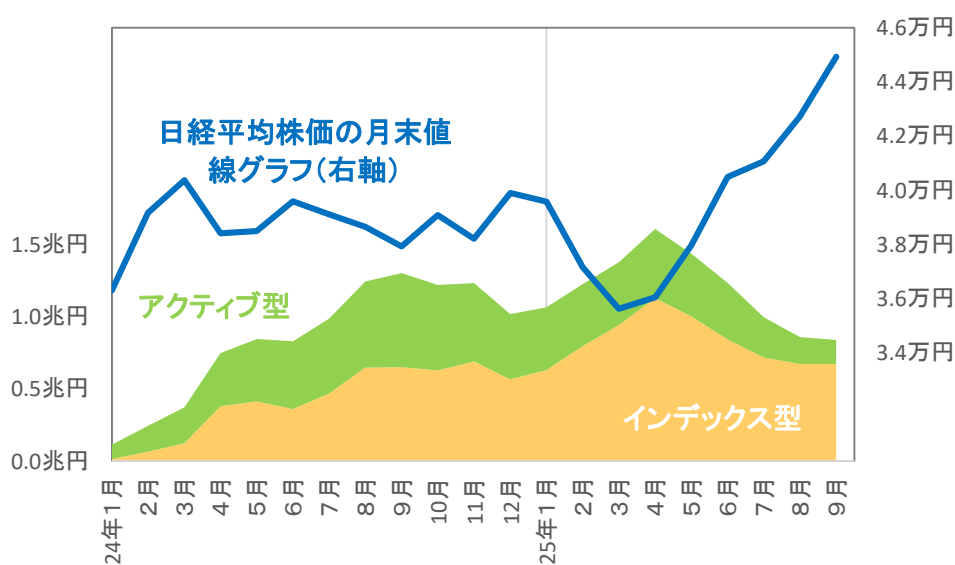
国内株式ファンドも長期保有の兆しか？

国内株式ファンドについても売却超過となっていたが、5月以降 1,000 億円を超えていた流出額が一般販売されているものに限っても9月は200億円と大幅に鈍化した。一般販売されている国内株式の中では、アクティブ型が200億円の資金流出と8月の900億円から減少し、インデックス型は資金流出が20億円未満と8月の400億円からほぼ止まった。

9月は月初、月末に国内株式がやや調整しており、そのタイミングで国内株式ファンドに押し目買いに伴う資金流入があった。それに加えて、9月中頃に株価が大きく上昇する中、売却超過となっていたが、株価の上昇が大きかった割には流出額が膨らまなかった。元々、インデックス型は6月、アクティブ型は7月をピークに流出額が鈍化してきていたこともあり、国内株式ファンドの売却がそろそろ一巡しつつあるのかもしれない。

ここで、一般販売されている国内株式ファンドの資金流出入を新NISAが始まった2024年から累積すると、これだけ国内株式が上昇したにも関わらず、インデックス型は6,700億円、アクティブ型は1,700億円と、ともに流入超過になっている。特にインデックス型は、2025年から見ても9月末でも1,000億円と小規模ではあるが流入超過が続いている。

【図表3】一般販売されている国内株式ファンドの
2024年からの累積資金流出入



(資料) Morningstar Direct より作成。SMA 専用ファンドは除外。2025 年9月のみ推計値。

インデックス型の国内株式ファンドは 2024 年以降でも単月で見ると、国内株式が上昇すれば流出超過に、下落すれば流入超過になりやすく、相変わらず逆張り投資の傾向が強い。ただ、累積で見ると流入超過となっていることを踏まえると、下落した時の買付ほどは上昇時の売却が膨らんでないことが分かる。新NISAの影響もあってか、インデックス型の国内株式ファンドでも長期投資する人が増えている可能性がある。8月、9月と日経平均株価やTOPIXが史上最高値を連日更新する中で資金流出の鈍化は、そのことを象徴するような出来事だったといえよう。

ファンド全体だと3月以来の規模に

これまで見てきた株式ファンド以外に目を向けても、バランス型ファンドや最近、高パフォーマンスな金関連ファンド（【図表2】【図表4】黄太字、なお【図表1】だと「その他」に分類）の一部なども9月は資金流入が増加した。外国債券ファンドでも、300 億円の資金を集めた転換社債ファンドが新設されたこともあり、一般販売されているものに限っても9月に資金流入に転じた。

さらに、冒頭でも触れたように9月はラップ口座の販売が好調だったとみられ、SMA専用ファンド全体に2,500 億円の資金流入があり、8月の100 億円から急増した。9月はSMA専用ファンドの底上げもあり、内外REITファンドこそ販売が冴えなかったが、ファンド全体で見ても1兆3,200 億円の資金流入と8月から6,000 億円増加し、3月以来の規模にまで膨らんだ。

【図表4】2025 年9月の高パフォーマンス・ランキング

ファンド名		運用会社 (略称)	9月の 収益率	過去1年 収益率	純資産 9月末時点
1位	暗号資産関連株式ファンド	AM-One	26.0 %	---	120 億円
2位	三菱UFJ 純金ファンド	三菱UAM	25.0 %	36.4 %	6,424 億円
3位	ブラックロック・ゴールド・メタル・オープンBコース	ブラックロック	23.0 %	59.9 %	273 億円
4位	ブラックロック・ゴールド・ファンド	ブラックロック	22.9 %	59.3 %	357 億円
5位	ブラックロック・ゴールド・メタル・オープンAコース	ブラックロック	21.8 %	53.1 %	94 億円
6位	iFreeNEXT ATM+	大和AM	18.0 %	63.7 %	22 億円
7位	eMAXIS Neo 遺伝子工学	三菱UAM	17.5 %	-27.8 %	18 億円
8位	インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド	インベスコ	16.9 %	60.1 %	449 億円
9位	インベスコ 世界ブロックチェーン株式ファンド(予想分配金提示型)	インベスコ	16.7 %	59.6 %	115 億円
10位	NASDAQ100ゴールドプラス	アモーヴァ	16.5 %	---	25 億円

(資料) Morningstar Direct より作成。2025 年9月末残高が 10 億円以上の ETF、ブル・ベア型以外のファンドでランキング。

本資料記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と完全性を保証するものではありません。
また、本資料は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。